

学校業務改善 推進校 実施計画書

学校名 淡路市立津名中学校

校長名 金 田 好 史

学級数	1 4 学級	児童生徒数	4 4 3 名
プロジェクトチームのメンバー構成	校長、教頭、事務職員、各学年 1 名の合計 6 名		
1．学校業務改善に係る自校の課題等			
<p>平成 2 2 年度学校業務改善推進校としての取り組みの中で、教職員の意識改革・共通理解も深まりつつある。データの共有化、電子メールの活用等により、事務処理の効率化や職員会議・職員朝礼の時間短縮も進みつつある。反面、勤務時間の適正化については、それほど改善が進んでいないのが現状である。</p> <p>平成 2 3 年度は、学校ルールブックの徹底を図るとともに、一層の I C T の活用を図るとともに、勤務時間の適正化・生徒と向き合う時間の充実に努めていきたい。</p>			
2．「学校業務改善実践事例集」等に基づく、課題解決のための取組項目（該当するものに ）			
	（ 1 ）学校ルールブックの作成		
	（ 2 ）電子ファイルの共有		
	（ 3 ）児童生徒データベースの作成		
	（ 4 ）出席統計作成ファイルの作成		
	（ 5 ）トライやる・ウィーク関連資料の支援ファイルの作成		
	（ 6 ）校務・業務の効率化や I T 化		
	（ 7 ）学校事務の改善について		
	（ 8 ）研修・会議等の効率化		
	（ 9 ）学校行事・事業の見直し・廃止について		
	（ 10 ）部活動のあり方について		
	（ 11 ）外部人材等の活用について		
	（ 12 ）勤務環境について		
	（ 13 ）その他（ ）		
3．上記、課題解決のための具体的な取組内容と工夫する点			
1 学校業務改善に向けて、学校ルールブックの作成とともに、教職員の一層の意識改革と共通理解を図る。			
2 I C T の活用により、教職員の事務処理の効率化を図る。			
3 研修や会議の効率的な運営を推進するとともに、勤務時間の適正化、生徒と向き合う時間の充実に努める。			

上記(1)～(5)は「学校業務改善実践事例集」(6)～(12)は「教職員の勤務時間適正化対策プラン」の項目
「学級数」及び「児童生徒数」は、平成 2 3 年 4 月 1 日現在。